

# 野田九条通信

2017年1月 133号

野田・九条の会 事務局  
☎04-7122-0502



野田 九条の会

検索

## 成人おめでどうござります

## 真実を見る目をみがこう

二〇一七年が始まりました。皆様はどんな思いで年の初めを過ごしておいででしょうか。気候の変動が今までになく大きくなっていくとか、政治の世界でもヨーロッパやアメリカの予想を覆す選挙の結果があったり、日本での安倍政治の横暴があったり…とても「おめでとう」といつていられない気持ちにさせられます。

年末、『リカタン』という理科の面白さを探求する雑誌を讀みました。特集が「陰謀論の正体」。『アポロ月面着陸疑惑?』、『九・一一テロはアメリカ政府の自作自演?』、等々そんなことはないと思われることを信じてしまう心理について科学的に解説しています。もつと身近なことでは、血液型による性格判断、がんが治る、ダ

イエットができるサブプリメント、デトックスなどテレビでよく見ることが正しいと信じてしまうことの危険性も指摘しています。それって科学的根拠があるの?と疑ってみるの大切さを改めて気づかされました。

憲法九条を守ろうと運動している私たち、マスコミの報道をうのみにせず、いろいろな角度から考え・調べ本当のことをみきわめていきたい。そういう目をみがいて運動を進めたいと思います。

田口 いく子

## マスコミに手紙を出そう

世論形成にマスコミの影響は大きいものです。この頃のマスコミはおいしいと嘆くだけでなく、記事や番組のおかしいところ、よかったところを具体的に担当者伝えてみましょう。

- 日本放送協会 〒150-8001 渋谷区神南 2-2-1 FAX 03(5453)4000
- 東京放送 (TBS) 〒107-8006 港区赤坂 5-3-6 報道局 FAX 03(5571)2168
- 日本テレビ放送網 〒105-7444 港区東新橋 1-6-1 報道局 FAX 03(3230)1271

人は 知ること 感じることで 磨かれていく 今日を どれだけ 大事にしたかで 鍛えられていく どんな未来を 描くかで 仕上がっていく



“トイレで知る・考える”カレンダー-2016”より

### ① 今月の予定

1月9日 (月・祝) 9:00~11:00

9の日行動 成人式前 九条通信配布  
中央公民館前 野田九条の会

1月9日 (月・祝) 13:30~16:30

DVD 上映とディスカッション  
映画「野火」大岡昇平原作・市川崑監督  
南部梅郷公民館 南地域九条の会

1月14日 (土) 13:30~16:00

野田・九条の会 定例会  
榎のホール第一集会室  
今年の年間行動計画を話し合います

1月19日 (木) 18:30~

安倍政権の暴走止めよう!  
自衛隊は南スーダンから撤退を!  
1.19 総がかり行動 愛宕駅 16:07 発  
衆議院第2議員会館前 柏行き先頭車両乗車

一緒に行きませんか?

愛宕駅 16:07 発

柏行き先頭車両乗車

1月21日 (土) 13:30~16:00

DVD 上映とディスカッション  
「ワタシ、選挙に行きました〜“18才”主権者教育の現場から」  
中央公民館講座室 子どもの未来を語る会

## 九条の眼

# 奪われた“尊厳”を取り戻そう！

**想像してみる。**今、シリア・アレッポで起きている非人間的な地獄絵を。独裁者アサドとそれを支援するロシアによる無差別大量殺人を。「hopeless, helpless」の恐怖の声をネットで配信する人々の末路を。沖縄戦、ガマの悲劇を思い起こす。

**想像してみる。**わずか 600m 離れた海岸に墜落したオスプレイの事故を。「島民の命を救ってやったのだからむしろ感謝しろ」と、高圧的に居直る在沖繩米軍司令官の暴言を浴びる沖縄の人々の屈辱を。

**想像してみる。**辺野古と東村高江での非暴力抵抗運動のリーダー・山城博治さん。不当逮捕され投獄されて 50 日を越える。病と寒さに苦しむ山城さんに靴下の差し入れと面会を拒み続ける当局の非情さを。第二の小林多喜二にしては絶対にならない。

**想像してみる。**命からがら避難した先で、「福島ばい菌」呼ばわりされたうえに遊興費に賠償金の持ち出しまで強要され、いじめられていた幼い子供の心の叫びを。

**想像してみる。**長時間労働と上司のパワハラで過労自殺に追いやられた電通の若い女性職員の無念さと遺された母親の悲痛を。

**想像してみる。**国民からカネを巻き上げ不幸の奈落に突き落とすカジノ解禁法案を成長産業とウソづくアベ首相の節操の無さを。ニンマリする親分とひれ伏す子分たちのバクチ国家を。

ここで“憲法九条”を読み返してみる。曰く、「日本国民は、**正義と秩序**を基調とする国際平和を誠実に希求し…」、そして“前文”には、「日本国民は、…平和を愛する諸国民の**公正と信義**に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」

今、アベ政権はここに謳われている正義とか公正の精神を踏みにじり、国会を無法地帯にし、若者や弱者を差別と貧困に追い込み、この国の品格を著しく貶めてしまうブラック国家としてしまった。この罪は大きい。「モラルや倫理、そんなものカネにも票にならない。平和とか安全、そんなものより目先のカネ儲けさ」と、恥も外聞もなくあけすけに叫ぶ政官財のトップたち。その墮落し歪んだ顔を見るのは耐えがたい。更に彼らを圧倒的に支持する国民のいることを思うと腹底に澱が溜まるごとくなお一層耐えがたい。

平和を愛する皆さん。私たちの闘いは単にアベ政権の暴走を止めるだけに終わるのでなく、アベ政権によって奪われ傷つけられた人間本来の“尊厳”を取り戻す闘いでもあるのではないのでしょうか。

事務局



## あなたの職場は大丈夫？

ある新聞の文芸欄に「非正規じゃ 食えず 正規じゃ 殺される」という川柳が投稿されていました。昨今の社会状況が表現されているようです。昨年、大手広告会社の電通で新入女子社員が一日の睡眠時間 2 時間～3 時間という過酷な長時間労働を強いられ、自ら命を絶ってしまいました。母子家庭で育ち一生懸命にアルバイトしながら勉学に励み東大を卒業、大企業に就職したにもかかわらず、月に 100 時間以上も時間外労働し、上司からはパワハラまで受けていたようです。法律では労働時間は 1 日 8 時間、週 40 時間と決まっているがこれを守っている企業はなさそうです。なぜ法律違反にならないのかと思

うが、労働基準法に「労使協定を結べば、1 ヶ月に 45 時間まで時間外労働をさせることができる」と記され、繁忙期にはこの限度を超えて働かせてもよいことになっているというから、企業側に有利な法律では？先進国の日本でこんなに長時間労働をさせて若者たちを精神的肉体的に疲れさせ、質の悪い労働で生産性も上がらず日本経済が衰退していくことになるのではないのでしょうか。高度経済成長期以降に経済発展を優先させるため、人材を育成させる方向に目を向けた終身雇用年功序列を廃止した結果なのではないか。国民ひとりひとりに幸せになる権利があるのです。必要とされているあなたの命を大切に、社会に目を向け語り合いましょう。

宇野 和江